

今月の炬火

斉川 満氏
サイモンズ代表取締役社長



買い物やネット利用など、日常の様々なシーンで付与されるポイント。その約四割は活用されず失効しているという。それらを社会貢献事業への寄付として活用しようとするのがサイモンズ（東京都中央区）だ。同社が独自に取り組むポイントカードサービスについて代表取締役社長の斉川満氏に伺った。

時代を先取りしたビジネスモデルを積極的に創造し、「競争から共生へ」をスローガンにポイントカードサービスを行うサイモンズ。同社の斉川満代表取締役社長は、平成十四年十二月二十五日の設立以来、独自の発想で地域社会の活性化に取り組んでいる。

その考え方の根幹にあるのは、イタリアの著名な政治哲学者アントニオ・ネグリの思想。ネグリ氏は「選挙による代表制民主主義では、結局は一部階層の人達のみが豊かさを享受しているに過ぎない。国家の廃絶を図るのではなく、コミュニケーションのあり方を変えることで、参加と協業を基盤にして、市民が「共に統治（ガバナンス）する社会」が求められるのではないかと語る。斉川社長は、その具体的な手法を提供できると自信を見せる。そのカギとなるのが「サイモンズポイント」だ。

買い物やインターネットの利用など、様々な消費活動において付与されるポイント。それらは通常、互換性のない独自の「オマケ」であり、約四割は活用されることなく失効しているという。それらを、信頼関係を土台とした持続可能な循環型ポイントサービスとして活用し、CSR（企業の社会的責任）、ASR（地域の社会的責任）、PSR（個人の社会的責任）がバランス良くWIN-WIN-WIN-WIN構造を築くのがサイモンズだ。

「巷に溢れる『ポイント』をお金として捉え、流通網に乗せて全国の地域に配分できればと考えている。それをビジネスに活かしながら社会貢献していきたい」と斉川社長。「地域コミュニティ作りを進めて行くには、コミュニティ内で自由になる活動原資が必要。それを自分たちの普段の経済活動を介して獲得できる『失効ポイント』

ト』から得るのがサイモンズの仕

組み」と説明する。

失効ポイントを寄付金に

自治体として初めてサイモンズポイントカードを採用した北海道鷹栖町では、町の居住者や、現在は都市部に住む出身者などにカードを配布。ネットショッピングモールを含む全国のサイモンズ加盟店で付与されたポイントは、期限が切れると児童書購入費用として自動的に鷹栖町に寄付される。その実績は三年間で四〇〇冊以上。寄付の為、意図的にポイントを失効させる利用者もいるという。

また、秋田県のプロバスケットボールチーム『ハピネット』が発行する『秋田ノーザンハピネットカード』の場合、地域とスポーツを同時に振興。そのカード発行原資は秋田県からの協力を得ており、斉川社長は「我々の考え方が浸透してきた」と語る。

社会貢献のための寄付先は大学の育成基金や森林保護団体など

様々。ポイントは企業が付与するものという発想を取り払い、地方自治体、大学、NPO、個人商店、商店街、ネットショップなどが加えられるのが大きな違いだ。

「市民カードを作って、ショッピングやイベント、福祉、医療、図書館、最終的には自分が住む市町村役場の支払いにも使えるようにするのが一つの目標。社会貢献を理由に、お客様がポイント加盟店の商品を高くても買う仕組みにしたい。ポイントを全て社会連携の中に織り込み、ゆくゆくは全国共通の子どもからご年配の方々も誰かが持っている社会生活充実カードにしたい」

その足掛かりに一〇年の歳月を費やしてきた斉川社長は、「お客様の利便性と、地域活性化の両立という問題がある。利便性の高いカードがあればお客様は大企業での買い物に一極集中して

しまう。『どこでも貯まるが使える場所は地元だけにする』など、常に地域にお金が落ちるシステムにするのが重要」と導入の難しさを語る。

世界初「貯蓄年金ポイント」

現在、サイモンズは豊橋市や一宮市などのフリーペーパーと組んで、掲載店ごとに作ったポイントカードから会員を集約してデータベース化。ターゲットを絞った情報発信で、店舗への誘導を強化している。また、長久手市や瀬戸市、安城市、岡崎市などとの連携に向けて動いており、一部の市では、導入地域の視察まで進んでいる。

「愛知県では子どもを中心とした新しい取り組み作り、特にモリコロパーク活性化に力を入れてみたいと思う」と斉川社長。

他方、新しいビジネスモデルとして考えているのが、今までは貯めて使うのがほとんどだったポイントを年金化あるいは貯蓄に回すことだ。この「貯蓄年金ポイント」

まずはそのビジネスモデルを各当事者に理解してもらうこと。その働きかけは、すでに愛知県内においても行われている。

システムと、地域に対してポイントを活用した少額融資を展開する「マイクロファイナンスポイントシステム」の導入で、ポイントの概念が大きく変わるといふ。

「従来のようにNPO等に出資するだけではなく、新しい事業を興したい個人に投資できる。お金を出して頂く部分とポイント失効部分をうまく融合して、クラウドファンディングのようなかたちで皆が地域に貢献すれば、自立した地域社会作りが図れるのではないかと考えている」（同）

全く新しい仕組みで、人と企業と地域の在り方を変えようとするサイモンズ。その試みは企業活動でありながら、思想をもとに社会を動かす「革命」だ。